

演題ID	演題名
200001	CRT-DのLVリード近接のLCx高度石灰化病変に対しIVLを施行した1例
200002	電子マニュアル作成の試み
200003	ECMO施行中送血側・側枝を用いた下肢血流量に関しての実験
200004	IVL-shockwave-を使用した経験
200005	FFRangioによる機能的評価と血管内超音波を用いた解剖学的評価の比較検討
200006	ivus guide DCAでのangioとivusのfusionにおけるtip detection法の有用性
200007	複数病変に対する病変毎の治療後によるFFRとNHPR(non-hyperemic pressure ratios)の検証
200008	放射線防護衣(プロテクター)の経年変化についての考察
200009	心臓カテーテル検査室へのオペラマスター導入の効果
200010	Ruptureに対する固体塞栓物質とNBCAの併用経験
200011	Excimer Laser照射設定(fluence、pulses)における蒸散効果の基礎的検討
200012	関節リウマチ患者に生じた橈骨仮性動脈瘤を経験して
200013	IMPELLA CP 16Fr sheath in sheath留置法におけるSingle Access Technique (SAT)の検討
200014	DRLs2020を踏まえたデバルキングデバイスを使用したPCIにおける患者被ばく線量の研究
200015	高齢者急性心筋梗塞の治療に難渋した一例
200016	IMPELLAパージ用ラインの接着強度および引張強度の検証
200017	PCI後のRFR測定は治療評価になり得るかの検討
200018	高電圧透視を用いたアブレーション時の透視線量率低減の検討
200019	浅大腿動脈の血栓閉塞病変に対して血栓除吸引デバイス(Indigo System)を使用した1例
200020	包括的高度慢性下肢虚血における治療への取組み
200021	川崎病に対する治療状況及び治療戦略の検証～CABG回避のために～
200022	EVTにおいてCFS(Clinical Frailty Scale)が被ばく線量、透視時間、造影剤量に与える影響
200023	デバイス記録電子化による業務改善への取り組み
200024	カテ室と病棟の兼業による業務課題について考える
200025	EVTにおける橈骨・上腕アプローチでの治療実績の検討
200026	カテ室の外から始まり、継続する看護を目指して
200027	当院における夜間休日のECPR対応への取り組み
200028	左脚領域ベージング波形による虚血評価は可能か?
200029	EVTにおける放射線防護シートの適切な設置方法による循環器内科医の散乱線被ばく減少の検討
200030	ハイブリッド手術室に導入されたlow contrast-digital angiography法の効果検証
200031	免疫関連有害事象に伴う劇症型心筋炎に対してECPELLA管理を行い救命し得た1例
200032	αEvolve imagingにおけるLive zoom画像の視認性と被ばく線量の評価
200033	大動脈閉鎖カテーテル導入におけるハートチームの取り組み
200034	各種安静時指標(RFR、iFR、dPR)と全周期平均Pd/Pa間の乖離についての検討
200035	左前下行枝の高度石灰化病変に対しRotational Atherectomyを行い、後日IVLを施行した1例
200036	最大冠充血評価に対する新たな評価パラメータでの検討

演題ID	演題名
200037	メディカルスタッフによるFFRangioの診断精度
200038	冠動脈ステント断裂部が冠動脈瘤を形成した1例
200039	希釈造影法を使用した腹部大動脈ステントグラフト内挿術(EVAR)における造影剤使用量の低減
200040	LAD中等度狭窄病変におけるQFRの有用性
200041	IVUSガイドによる入口部ステント留置症例の検討
200042	当院での経皮的左心耳閉鎖術におけるタスクシフト/シェアへの取り組み
200043	責任病変の同定や病変性状の判定が困難なACS患者に対してOCTとIVUSの使用が有効であった2例-Hybrid Imaging Deviceへの期待-
200044	ロータブレーターの導入にあたってCEとしての取り組み
200045	循環器内科医師の水晶体等価線量推移について
200046	下肢閉塞性動脈疾患患者に対する血管内治療時の鎮痛鎮静プロトコルについての検討
200047	経皮的心房中隔欠損閉鎖術における患者被ばく線量の検討
200048	ECPRシミュレーションの報告
200049	緊急カテーテル治療における、カテーテル室入室時間短縮に向けての検討
200051	体外循環式心肺蘇生におけるチームダイナミクス向上への実践
200052	当院における診療放射線技師による異常所見報告の取り組み -カテーテル検査に関連した2症例-
200053	仮想透視画像を利用した3Dロードマップが慢性完全閉塞の末梢血管治療に有用であった一例
200054	イメージングデバイスが複数必要となる時とは
200055	IMPELLA使用時に発生する溶血は留置位置の異常に起因する
200056	当院におけるCMD検査の現状と課題
200057	完全閉塞の大股膝窩動脈病変に対してワイヤー通過位置が薬物溶出性バルーン治療後の再狭窄因子に与える影響
200058	線量管理システムで計算される線量情報と線量計による測定線量の比較検討
200059	Boston Scientific社製AVVIGO+に搭載されているTrace Assist・ALA™(Automated Lesion Assessment)機能の臨床評価
200060	カテーテル室立ち上げ病院における急変時対応のシミュレーションの取り組み
200061	カテーテル室立ち上げ病院におけるST上昇型心筋梗塞(STEMI)患者のDoor to balloon time(DTBT)の短縮への取り組み
200062	冠動脈全体のAngioを見て評価した回旋枝の血管径
200063	カテーテル穿刺部位の麻酔薬テープと鎮痛効果の検討 最終報告
200064	左総大股動脈治療中に7Frシースが抜け再挿入出来なかった症例を経験して
200066	ガイディングカテーテル内のブレード突出により、デバイスデリバリーが困難となったRCA CTOの一症例
200067	Rotablatorの新規導入に向けての当院の取り組み
200068	ガイディングカテーテル内のブレード突出により、デバイスデリバリーが困難となったRCA CTOの一症例
200069	CCTAを用いた術前仮想ステント計測の有用性の検討
200070	ISRを伴うCTO病変に対してIVLカテーテルを使用した一例
200071	ヒトの冠動脈造影画像由来の心筋血流画像における正常および虚血群の比較評価
200072	冠動脈模型を用いたシミュレーション研究の取り組み
200073	心臓カテーテル検査におけるRad Boardの有用性の検討
200074	当院循環器内科におけるRLPコレステロール値を用いた栄養指導の取り組み

演題ID	演題名
200075	当院のハートチームにおける臨床検査技師の関わり
200076	当院のV-A ECMOの事故抜去と再循環をきたした1症例
200077	ACT測定プロトコール変更前後での血栓症、ACT値、総ヘパリン投与量の比較検討
200078	心臓カテーテル室検査・治療への看護師の清潔介助によるタスクシフトの有用性について
200079	LMTに対するDCA-DCBの治療成績
200080	右冠動脈の病変に対してdirect stentingをおこなった際、slow flowをきたした症例～合併症リスクを予見する読影力～
200081	ITE試験の過去問題を取り入れたカテーテルナースへの教育の取り組み
200082	SHDインターベンションにおける空間線量の把握～周囲スタッフ被ばく防護の取り組み～
200083	手作り石灰化モデルにおけるRota wireのbias検討
200084	日帰りカテーテル検査後の止血管理中の出血要因
200085	血栓性病変を有するACS病変の平均血管径とPerfusion balloonの効果の関係
200086	急性心筋梗塞後の冠微小循環障害に対してニコランジル内服後の再評価で改善を確認できた1例
200087	洞不全症候群によるAdams-Stokes症候群を契機に微小循環障害の診断に至り、薬物的アプローチで微小循環障害の改善を認めた症例
200088	当院におけるカテーテル大動脈生体弁Navitor留置に際しての工夫
200089	補助循環用ポンプカテーテル(IMPELLA)の管理に重炭酸ナトリウム添加パージ液を使用した経験
200090	自己拡張型人工弁留置における右内頸静脈アプローチ心腔内エコーの意義
200091	スタッフの技量向上を目的としたUltreon2.0を用いた評価プロトコールの作成の経験
200092	IABPバルーンラプチャー後に他社製システムに変更し回避しえた一例
200093	Tip detection法の新たな試み ～TD法用いたwire re-cross～
200094	当院Work Stationにおける大動脈弁自動解析の整合性の検討～Heart NavigatorはBalloon Expandable Valve サイズ決定を担うか
200095	OCTによる観察とパーフュージョンバルーンが有効であったSTEMIの一例
200096	Pressure catheter guide BPAの経験
200097	心臓カテーテル業務に従事する看護師への教育方法
200098	症候性頸部頸動脈狭窄症における急性期Carotid Artery Stentingは安全か?
200099	肺動脈バルーン形成術におけるACIST社製ラピッドエクスチェンジFFRシステム『RXi』の使用経験
200100	経カテーテル僧帽弁形成術に対して心臓CTが腱索評価に有用であった一例
200101	閉塞血管に対するEVTにおいて閉塞部分を補助機能にて表示させた3D-Road Mapの有用性
200102	光干渉断層撮影を用いて血管内結石破碎術を施行した経皮的冠動脈形成術症例の検討
200103	止血用押圧器具装着中に出血を起こした患者の傾向について
200105	熱希釈法におけるニコランジル冠動脈投与時とアデノシン5'-三リン酸持続静脈投与時の平均通過時間の比較
200106	負荷CT perfusion中のATP投与に伴う心拍変動に影響を与える因子の検討
200107	緊急心臓カテーテル業務におけるDoor to balloon time の達成と改善点の実態把握
200108	血管内超音波を用いて経皮的冠動脈形成術中の冠動脈入口部解離発生頻度とその予後についての検討
200109	偏在性の高度石灰化病変に対してIVLが有効であった一例
200110	倫理教育によるカテーテル室看護への影響～カテーテル室における看護倫理とは～
200111	心拍出量計測に用いる生理食塩水の使用量について比較検討

演題ID	演題名
200112	PCIにおける造影剤希釈の試み
200113	左冠動脈主幹部の急性ステント血栓による急性心筋梗塞での心停止に経皮的心肺補助を施行した1例
200114	遠位橈骨動脈穿刺後の止血方法についての検討
200115	膝窩動脈の慢性完全閉塞性病変に対する血管内治療においてCone Beam CTが有用であった一例
200116	Intra Vascular Lithoplasty (IVL)はPercutaneous Coronary Intervention (PCI)の被ばく低減の一助になるか
200118	当院看護師における被ばく予防対策前後の比較
200119	重症虚血肢を有する高齢透析患者の予後から見た地域連携の問題点
200120	冠動脈CTAにおけるPhoton counting detector CTとEnergy integrating detector CTの画質の比較評価
200121	Impella®管理中の下肢虚血におけるシース選択の検討
200122	冠動脈石灰化が負荷CTperfusionの心筋虚血に与える影響
200124	ポリグラフ故障時におけるパニックカードの有用性の検討
200125	東北地方における医師の働き方改革に関するメディカルスタッフの意識調査
200126	JETSTREAMの使用時間と貧血の関係性について
200127	心房細動が大動脈バルーンパンピング導入患者のICU滞在期間と予後へ与える影響
200128	医師の働き方改革を見据えたTAVI診療における診療看護師の実践報告
200129	V-A ECMO導入後、コンパートメント症候群を発症してしまったが社会復帰できた一例
200130	当院におけるSFA病変に対するEVT症例の検討
200131	当院のStentless PCIにおける遠隔期治療成績の比較・検討
200132	Cusp Overlap ViewがTAVIの術中Cアーム操作に及ぼす影響に関する検証
200133	左重症下肢虚血、血管内治療後再閉塞の為、下肢動脈バイパス手術的に心臓下肢造影CTA施行し後脛骨及び腓骨動脈描出した症例
200134	エキシマレーザーTurboPowerカテーテルにおける蒸散効果の基礎的研究
200135	LCBIとPost PCI IMRの関連性の検討
200136	JETSTREAMの使用経験
200137	小径のカテーテル径におけるTmnの測定値は適切か
200138	包括的高度慢性下肢虚血(CLTI)患者に対してレオカーナを用いた吸着式潰瘍治療法が有効であった1例
200139	下肢血管内治療における鎮静・鎮痛の有用性と安全性について
200140	へき地だからこそ!予防医療への取り組み!
200141	患者向けカテ入院時説明動画作成の取り組み ~業務改善の視点から~
200142	DCAでの切削における至適方向の検討
200143	病棟看護師のスキルアップを目指して~カテ室ローテーション研修を始めました~
200144	下肢静脈造影CTにおけるコントラストを上げる撮影方法についての検討
200145	ステントグラフト内挿術後瘤拡大に対して4DCTを用いてエンドリークを描出しえた一例
200146	CFR/IMR計測時におけるオートインジェクターと手動測定の比較検討について
200147	レーザー血流測定を用いたEVTにおける治療評価の検討
200148	当院におけるCAGでの造影剤注入レートの再検討
200149	高流量鼻カニューレ酸素療法を用いた肺静脈隔離術における呼吸管理の検討

演題ID	演題名
200150	ACS発症におけるlow attenuation plaqueの関与についての検討
200151	ACSに対してIVLが有効であった一例
200152	病棟看護師との情報共有を目指して
200153	当院におけるFFRctの現状報告
200154	肺動脈CTAを用いた灌流異常域の定量評価手法の構築
200156	人工知能AIによる大動脈弁カルシウムスコア測定の精度
200157	高度石灰化病変に対し施行したIVLとRAの比較検討
200158	緊急経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)を受けた患者の診療看護師としての関わり
200159	石灰化病変の臨床的に有用なIVUS読影法 ～OCTと対比した検討～
200160	石灰化病変における血管内結石破砕術(IVL)カテーテルサイズの検討
200161	面検出器CT装置での冠動脈CT-A撮影において心拍数が被ばく線量とモーションアーチファクトに与える影響
200162	パイプレンSPOT透視を用いた際のROIサイズによる空間線量率の変化
200163	装置線量の最適化の事例:装置更新に伴う装置基準線量、および代表的な手技線量の変化
200164	FFRangioにおける解析者間誤差についての検討
200165	LCX治療後のStent遠位部石灰化病変に対してIVLが奏功した1例
200166	前拡張が及ぼすIVL後のMinimum Expansion Index ～calcium fractureからの検討～
200167	カテーテル室における補助循環業務の改善
200168	心臓カテーテル治療の合併症対応に関するVirtual reality(VR)を用いた教育教材の作成
200169	末梢血管領域におけるデジタルズーム使用による被ばく線量低減の基礎的検討
200170	高度石灰化病変を伴うST上昇型心筋梗塞に対して血管内結石破砕術が有用であった1例
200171	ECMO導入シミュレーションとVRヘッドカメラを使用した取り組み
200172	血管造影室レイアウト変更による業務負担軽減に向けた取り組み
200173	Boston社製IVUS AVVIGO+の使用経験
200174	LCX-CTO病変に対するPCI中にLMT血栓閉塞を発生しCPAとなったが迅速なECMO導入により神経学的後遺症なく救命できた一例
200175	ペースメーカージェネレータ交換術時に体外式ペースメーカーのペースリング不全により心停止をきたした1例
200176	当院でのOCTの同期成功率とFFRの関係性の検討
200177	Scoring balloonを後拡張に用いた際のcrack形成の検討
200178	光干渉断層法(OCT)で検出されたステントエッジ解離が発生する因子の検討
200179	DRLs2020改定後の多施設線量調査による冠動脈領域における補助的DRL値の検討
200180	IMPELLA導入に難渋した大動脈弁位外科的生体弁留置後患者の一例
200181	Impella管理における重度溶血発生の原因についての後方視的検証
200182	心臓カテーテル室におけるタイムアウトの導入を経験して
200183	TAVIで左冠動脈閉塞を来しECMO導入後にPCIを施行した一例
200184	αEvolve Imagingの透視フレームレートの違いによる視覚評価
200185	UltreonのStent Expansion機能の有用性に関する検討
200186	当院におけるDCBを使用したEVTのレーザー血流計を用いた血流量変化についての検討

演題ID	演題名
200187	NIRS-IVUSによるブランク成分表示の可能性
200188	ACSにおけるperfusion balloonの有効性
200189	体動抑制を目的とした自作抑制帯の評価及び検討
200190	Valve留置症例における左右アプローチと冠動脈アクセスの関係
200191	Impella補助下での経カテーテル的僧帽弁接合不全修復術の経験
200192	当クリニックでの臨床工学技士のPCIにおける清潔介助業務の現状
200193	血管撮影装置における始業点検の業務改革
200194	カテーテル手技補助プレートを利用した自作防護具による管球角度別の術者被ばく低減効果の検証
200195	高度石灰化を伴う慢性完全閉塞性病変に対してIVUSガイドTip detection法が有用であった1例
200196	当院におけるバルーン拡張後の伸展がステント長軸方向へ与える変化についての検討
200197	トラブルから学んだIMPELLAの安全管理
200198	透析患者におけるEVT治療前後の末梢循環血流量の比較・検討
200199	『Avvigo』と『Ultreon』による自動計測機能の比較
200200	心臓CTの被ばく低減を目的としたスタッフ教育と被ばく線量の推移
200201	急性大動脈解離術後に対しfenestrated TEVARを実施した1例～debranch TEVARとの比較～
200202	3DCT画像のリアルタイム表示を肺動脈形成術(BPA)に導入した当院での取り組み
200203	遠位橈骨動脈穿刺後のTRバンドによる止血プロトコールの見直し—患者の安全安楽・看護師の業務負担軽減—
200204	微小血管抵抗指数(IMR)計測の用手的な急速冠注とインジェクションシステムでの急速冠注での平均通過時間の安定性の比較検討
200205	IVLシステムの使用経験
200206	肺静脈隔離術における鎮静の看護の標準化に向けた取り組みと成果
200207	自験例から考察するダイナミック心筋CT Perfusionの治療に対する有用性と今後の可能性
200208	ST上昇型急性心筋梗塞における冠微小循環障害の進展とその関連因子に関する検討
200209	心臓カテーテル業務の協働連携を行っての現状と今後の課題
200210	膝下動脈仮性瘤に対してコイル塞栓術を行った一例
200211	炭酸ガス造影を用いたEVTで体表エコーにより合併症増悪を免れた症例
200212	当院におけるIVLカテーテルの使用経験
200213	TAVI弁留置後の徐脈に関する検討
200214	血管造影室担当看護師の急変対応能力向上への取り組み
200215	機械学習を用いた心臓カテーテル検査レポートシステム構造化データからの被ばく線量予測の試み
200216	心臓カテーテル業務の協働連携を行っての現状と今後の課題
200217	アンギオグラフィーのみを用いたFFR解析(QFR: quantitative flow ratio)における、解析者による精度の差と検査精度向上の検討
200218	待機的PCI前後における血小板凝集能の変化
200219	冠動脈石灰化病変に対しIVLを使用しIVUSとOCTによる石灰化スコアを比較した1例
200220	心臓カテーテル担当看護師の急変対応における現状と今後の取り組み
200221	JETSTREAMを使用してアテレクトミーを行う際のフィルター留置による末梢保護の安全性と有効性の検討
200222	当院放射線科におけるカテーテル室スタッフ育成の取り組み

演題ID	演題名
200223	心血管カテーテルアクセスサイトの疼痛に関わる因子の検討
200224	RAQUOSを用いた希釈造影について
200225	Guide Extension Catheterによる血栓吸引についての検討
200226	心臓CTによる経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)術後急性期における心機能の変化
200227	経橈骨動脈アプローチPCIにおける止血時間短縮の試み
200228	当院におけるBoston社製IVUSの自動画像解析機能(Automated Lesion Assessment:ALA)を利用したALA-PCIの報告
200229	当院におけるCMD検査の検討
200230	EVAR における撮影方法の違いによる被ばく低減効果
200231	超解像画像再構成を用いた焦点サイズの違いによるステントの画質評価
200232	TAVIにおけるRapid pacing後の血圧回復遅延に関する検討
200233	当院における循環器セカンド業務での新人教育
200234	NIRS-IVUSの優位性とフォローアップ
200235	当院における超音波検査による大腿動脈高位分岐と合併症の関連性についての検討
200236	TAVI術中の造影剤用量をeGFR(mL/min/1.73m ²)以下にする有用性
200237	冠微小循環障害評価試験から見た最大充血に関する指標の検討
200238	自動造影剤注入機の希釈造影によるOCT希釈撮像の基礎的検討
200239	冠動脈高度石灰化病変に対するIVL及びスコアリングバルーンのス TENT 拡張性への寄与
200240	ECPRについて当院の取り組み
200241	ハイリスクPCIを受ける家族支援のない高齢患者の支援 高齢化社会における医療同意の課題と看護師の役割
200242	方向性冠動脈粥腫切除術(DCA)後Plaque Burdenの違いによる再狭窄率の比較検討
200243	OCTのExpansionを使用したShock WaveとRotablatorの比較検討について
200244	当院におけるTAVI施行時の患者被ばく線量評価 -患者背景からの解析-
200245	Boston社製IVUSコンソールAVVIGO+に搭載された自動画像解析機能(ALA)とマニュアル解析との比較
200246	SHD治療において経験した合併症・トラブル症例
200247	当院でのIVUS所見に基づいた切削部位の予測・検討
200248	病棟看護師が心臓血管撮影室と兼務する現状と課題
200249	高度石灰化浅大腿膝窩動脈病変に対してJETSTREAM施行前後のカルシウムスコアに関する検討
200250	断裂したIVUS遺残物の回収にIVUSが有効であった一例
200251	腹部大動脈瘤に対してステントフラフト内挿術を血管内超音波を用いて造影剤未使用で施行した一例
200252	当院におけるFFR-CT検査の臨床経験
200253	QFRは冠動脈タンデム病変の各病変の評価に有用か?
200254	大腿膝窩動脈病変におけるblack bandの厚さと血管解離との関連性
200255	冠動脈病変におけるIVUS石灰化スコアに関する検討
200256	検測者間におけるバーチャルFFR解析の信頼性について
200257	浅大腿動脈に薬剤溶出性バルーンを用いて治療を行った症例に対するスコアリングバルーンの有用性の検討
200258	心カテ業務における新人教育～独り立ちからステップアップに向けて～

演題ID	演題名
200259	Leriche症候群に対する3Dロードマップを用いた手術支援の一例
200260	シャント狭窄部病変別で考えるVAIVT症例の開存率等の比較
200261	PCI予定患者に対する外来での情報提供資料の運用についての調査
200262	当院でのECPRの取り組みと今後の課題～多職種シミュレーションを通して～
200263	外来心臓リハビリテーションにより微小循環障害が改善した運動習慣のない症例
200264	冠動脈CTを用いたPCI時のSlow Flowの予測
200265	非造影CT, 非造影MRIを用いたTAVI術前プランニングの検討
200266	規定線量超過患者に対する運用方法改定後の皮膚観察率調査
200267	末梢血管治療における薬剤コーティングバルーン治療前後での末梢血流評価
200268	TAVI症例数の推移と症例数の増加に伴う工夫について
200269	SFA病変に対するEVTのアプローチ部位とデバイス選択に関する検討
200270	当院でのICM管理の現状と課題
200271	抹消動脈疾患におけるEVT治療前後でのCAVIの変動についての検討
200273	心臓カテーテル装置における基準透視線量、散乱線測定による散乱線被ばくの把握
200274	IMPELLA CP使用症例におけるCPOのモニタリングの重要性
200275	補助循環用心内留置型ポンプカテーテルを挿入した低心機能患者のリハビリを経験して
200276	血管撮影室で試行する予定・緊急時の治療、検査に対し、サインイン・タイムアウト・継続的宣言を実施する効果と課題
200277	当院における機械的循環補助装置の使用動向に関する検討
200278	Impella 予期しない突然のポンプ停止を経験して
200279	上行弓部大動脈置換術直後にImpellaの導入を試みたが断念した症例
200280	経皮的心筋焼灼術を受ける患者のドレープ内環境改善に対する取り組みによる褥瘡発生予防策の効果
200281	総合病院における心血管造影室での新人教育
200282	急性心筋梗塞による院外心停止患者に対し、効果的なスタッフマネジメントによる円滑な治療により後遺症なく救命に成功した一例
200283	浅大腿動脈(SFA)病変に対する血管内超音波(IVUS)を用いた薬剤塗布バルーン(DCB)の臨床成績に関する検討
200284	洞不全症候群に対してペースメーカー留置後、心不全が増悪した1例
200285	当院におけるサインアウトに関する取り組みについて
200286	当院における冠微小循環障害を有する患者さんの割合
200287	当院での急性心筋梗塞症例におけるIMPELLAの使用経験
200288	安全なデバルキングのためのOCT Ultreon2.0の活用方法
200289	冠動脈CT-Angioにおける再構成セグメント数の変更が画質に与える影響の検討
200290	QVAにおけるジオメトリ計測の精度向上の検討
200291	非閉塞性冠動脈疾患における微小循環障害評価指標の比較
200292	当院で出張アブレーションを経験した報告
200293	新システム構築によるカテ記録の簡素化と統一・看護実践記録の充実に対する取り組み
200294	RMIにおいてLADに留置したステントが除去された1例
200295	血管内治療と補助療法を繰り返したCLTIの経験

CVIT2024

採択演題一覧

演題ID	演題名
200296	OAS時にVIPERWIRE離断し、回収しえた症例
200297	当院における重症石灰化病変に対するIVL(Intravascular Lithotripsy)の有用性
200298	当院に於けるIVLの初期成績と体外実験による知見
200299	心臓ドックの運用報告～Angioの件数増加へ～
200300	カテーテル室入室をスムーズに行うための病棟看護師への教育アプローチ
200301	当院の包括的心臓CTの線量調査
200302	カテーテル領域におけるタスクシフト実現に向けた取り組み
200303	Syncvisionの有用性について
200304	TAVRを中心とした循環器領域のOJTを受けて
200305	当院におけるImpella症例の検討
200306	FFR Angio使用実績 プレッシャーワイヤーを使用したFFRとの比較
200307	心臓カテーテル検査・治療における清潔介助業務の教育プログラム作成の報告
200308	冠攣縮性狭心症の血管内イメージング IVUSを用いた外弾性板性状の解析
200309	Boston社製IVUS AVVIGO+におけるALA機能についての検討・報告
200310	IVLカテーテルのballoon ruptureに関する検討
200311	CTO PCIにおけるAlphenix導入による被曝線量低減効果の検討